

## ■ 脱炭素社会の構築

車両の燃費性能向上につながる製品の軽量化に加え、生産性の向上、物流の効率化などにより、CO<sub>2</sub>排出量の低減を推進しています。

### 基本的な考え方

パリ協定で締結された、世界の平均気温上昇を産業革命前比2°C未満に抑える目標の実現はもちろん、今世紀末までに温室効果ガスの排出について、実質ゼロを実現しなければならないとされています。当社はTG2050環境チャレンジで掲げたCO<sub>2</sub>排出量のゼロ化を目指し、これまで培ってきたモノづくり力に加え、次世代自動車を見据えた新工法や製品の開発力を活かし、2025年度までの活動目標「第7次環境取組みプラン」に実行計画を落とし込んで活動して

います。さらに中間の2030年度目標として、CO<sub>2</sub>排出量を2013年比で50%削減することを目標に掲げ、段階的かつ具体的なCO<sub>2</sub>削減を進めていきます。また、部材の調達、製品開発、生産、使用、廃棄段階まで考えたライフサイクル全体で、CO<sub>2</sub>排出量の低減活動を推進しており、2021年6月に全社横断のカーボンニュートラル促進プロジェクトを発足させ活動を加速させています。

### CO<sub>2</sub>排出量の低減

豊田合成グループでは、2025年度目標達成に向け、製品段階、生産段階など、ライフサイクル全体におけるCO<sub>2</sub>排出量の低減を推進しています。

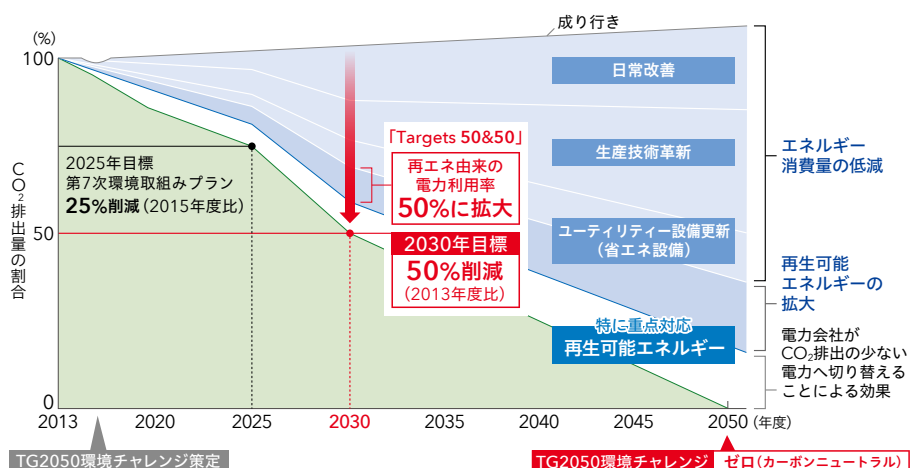
#### ●製品開発段階：環境に配慮した製品開発

製品段階では、環境に配慮した次世代自動車への製品提供、燃費向上に向けた軽量化、エネルギー消費が少ない製品の開発を材料技術・製品設計・生産技術の各技術領域が横断的に進めています。例えばFCEVへの水素タンクの製品開

発、インストルメントパネル周辺部品などの内装部品、ホースなどの機能部品において、材料置換(金属→樹脂、ゴム→樹脂など)、部品点数の削減、機能統合、強度の確保をした上での薄肉化などを積極的に進めています。

#### ●生産段階：新工法開発、日常改善などによる低減

TG2050環境チャレンジで工場CO<sub>2</sub>排出量ゼロの実現に向けて、2030年マイルストーンを設定し、工場での日常改善、生産技術革新、ユーティリティーの高効率化、再生可能エネルギーの拡大等で実現を図っています。



#### ●ライフサイクル：材料・部品調達、物流効率化などによる低減

環境に配慮した材料・部品調達を図るために、グリーン調達ガイドラインを策定し展開しています。サプライヤーの定期調査を行い遵守状況を確認するとともに、改善を図る場合は支援も行っています。

さらに、トラックの積載量向上、物流距離の短縮などの配車、輸送方法の見直しなど物流の効率化によるCO<sub>2</sub>排出量の低減を推進しました。

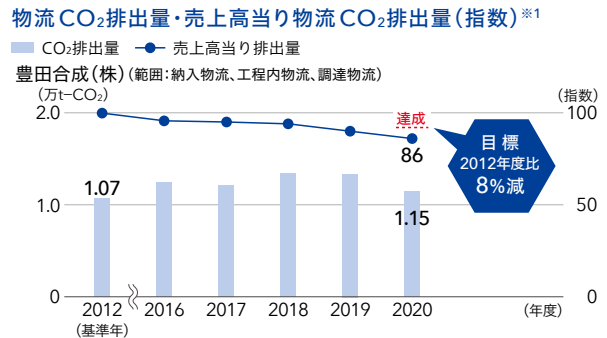
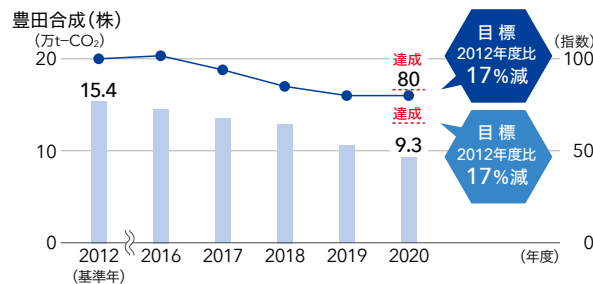
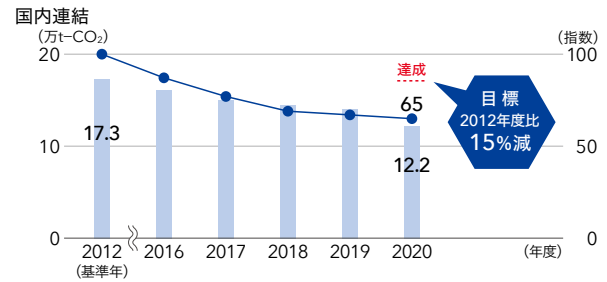
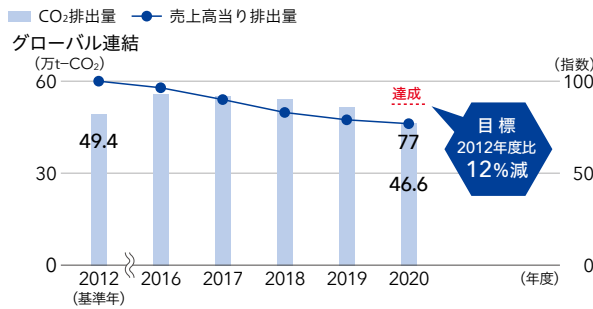


●再生可能エネルギー

クリーンなエネルギーである太陽光発電、風力発電の設置、グリーン電力の購入など、再生可能エネルギーの拡大を図り、2020年度末時点でグローバル全電力の4%となり、目標と

していた2%を達成することができました。また、次なるチャレンジ目標として、2030年度までにグローバル連結で20%以上を目指して拡大を進めていきます。

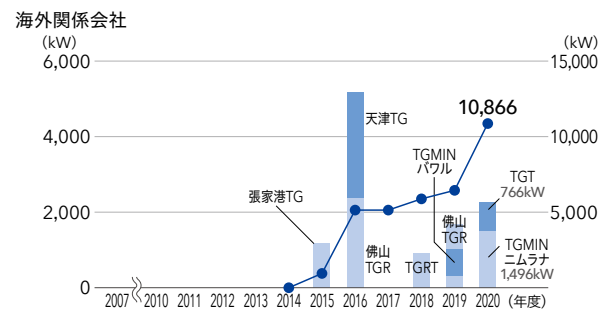
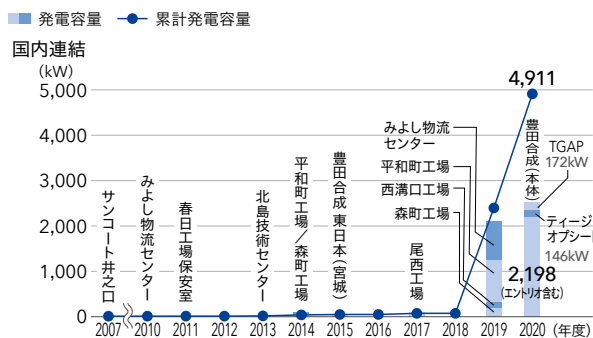
CO<sub>2</sub>排出量・売上高当りCO<sub>2</sub>排出量(指数)<sup>※1</sup>



※1 売上高当りCO<sub>2</sub>排出量(指数)は基準年を100とした場合の数値【CO<sub>2</sub>換算係数について】国内のCO<sub>2</sub>換算係数<sup>※2</sup>は、1990年の経団連係数を使用しています。また、海外のCO<sub>2</sub>換算係数は、GHGプロトコル(2001年)を使用しています。

※2 電力:0.37070t-CO<sub>2</sub>/MWh、A重油:2.69577t-CO<sub>2</sub>/kL、LPG:3.00397t-CO<sub>2</sub>/t、都市ガス:2.15701t-CO<sub>2</sub>/千Nm<sup>3</sup>、灯油:2.53155t-CO<sub>2</sub>/kL、LNG:2.68682t-CO<sub>2</sub>/t、ガソリン:2.36063t-CO<sub>2</sub>/kL(ガス会社の都市ガス発熱量変更の外部要因を除く)

太陽光発電の導入(ソーラーパネル付きの外灯などスタンドアロン方式のものは除いています)



温室効果ガス(6ガス)<sup>※3</sup>排出量の低減

6種類の温室効果ガスのうち、当社で使用している3つのガス(HFC、PFC、SF<sub>6</sub>)について低減活動を行っています。ハンドルの芯金生産に使うシールドガスなどは、いずれも環境負荷の低い代替ガスへの切り替えを2015年度までに完了しました。その結果、温室効果ガスを2012年度比で74%低減しました。今後も低減活動に取り組んでいきます。

※3 ハイドロフルオロカーボン(HFC)、パーフルオロカーボン(PFC)、六フッ化硫黄(SF<sub>6</sub>)、メタン(CH<sub>4</sub>)、亜酸化窒素(N<sub>2</sub>O)、三フッ化窒素(NF<sub>3</sub>)

温室効果ガス(6ガス)排出量(CO<sub>2</sub>換算)

